

仲間づくり教養コース ②国際社会学

大転換期を迎えた21世紀の世界を読み解く

第3回 共同の力による平和と発展

ASEAN共同体の挑戦

日時 11月5日(土) 10:00am~

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 田中 靖宏 氏

(日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会常任理事 国際部長)

第三回は、ASEAN（東南アジア諸国連合）にスポットをあて、アジア諸国の発展について学習しました。今回の受講生は37名でした。

講師は、富士見市民大学初登場の田中靖宏氏です。

田中先生は、東京外国語大学インド・パキスタン学科を卒業。ジャパン・プレス・サービス社長（英文ニュース配信会社）を経て、現在は「日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会」常任理事 国際部長として、幅広くご活躍されています。

ASEAN共同体への歩み

- ・1967年 5ヶ国で設立
- ・1971年 東南アジア中立地帯宣言（ZOPFAN）
- ・1976年 第1回首脳会議で協和宣言と東南アジア友好協力条約（TAC）締結
- ・1984年 ブルネイ独立して加盟
- ・1990年代 インドシナ3国とミャンマーが加盟して10ヶ国に
- ・1997年 ASEANビジョン2020を採択、ASEAN共同体をめざす
- ・2003年 第2協和宣言、安全保障・経済・社会文化の3本柱で合意
- ・2007年 ASEAN憲章を採択
- ・2009年 共同体設立を公式に宣言

ASEAN設立宣言

(前文の一般原則)

- ・平和と繁栄には、理解と善隣・協力が必要
- ・外部からの干渉を排除する決意
- ・外国軍基地は一時的なもの



- ・ 冷戦構造とは別の、地域紛争を「和解」と「協力」へ転換
- ・ 合意は、①地域の安定が必要 ②安保は相互協力への意思で ③経済協力だけに目的があるわけではない

内部の結束と外部との対話拡大

- ・ ASEAN+1 (各国と個別の会議) →90年代
- ・ ASEAN+3 (中国、日本、韓国) →98年
- ・ ASEAN+6 (+3+オーストラリア、ニュージーランド、インド)
- ・ 東アジア首脳会議 (+6+アメリカ、ロシア) →2006年
- ・ ASEAN拡大外相会議 (+8+カナダ、EU)
- ・ ASEAN拡大国防相会議 (ADMM+)
- ・ ASEAN地域フォーラム (+10+パプアニューギニア、東チモール、モンゴル、パキスタン、北朝鮮、バングラデシュ、スリランカ)
- ・ ASEAN+地域協同体 (EU、アラブ、アフリカ、中南米)
- ・ APEC (+ペルー、メキシコ、チリ、香港、台湾)

基礎となっているアジアの「不戦」条約

(東南アジア友好協力条約 (T A C) 1976 年骨子)

- ・ 第 1 条 (基本原則)
 - A. 独立、主権、平等領土保全及び主体性の相互尊重
 - B. 外部から干渉され、転覆され、または強制されることなく国家として存在する権利
 - C. 相互の国内問題への不干渉
 - D. 意見の相違または紛争の平和的手段による解決
 - E. 武力による威嚇または武力の行使の放棄
 - F. 締内国間の効果的な協力
- ・ 第 2 条～第 11 条 (有効と協力)
- ・ 第 10 条 他国の脅威となる活動には、いかなるかたちでも参加してはならない
- ・ 第 13 条 (紛争の平和解決) 紛争が生じた場合には、武力による威嚇または武力の行使を慎み、友好的な交渉で解決する

ASEAN各国の政治体制

	複数政党・議会	一党独裁	軍事独裁	王政
フィリピン				
シンガポール				
インドネシア				
マレーシア				
カンボジア				
ミャンマー				
ベトナム				
ラオス				
タイ				
ブルネイ				

31

東南アジアは多種多様、異質要素

- ・ 人口、面積 インドネシア 対 ブルネイ、シンガポール
- ・ 経済規模 (GDP) 4000 億ドル 対 90 億ドル

- ・政治体制 共和制、一党独裁、立憲君主、王政
- ・宗教 上座仏教、大乘仏教、イスラム教、キリスト教、その他
- ・旧宗主国 英国、フランス、オランダ、アメリカ、独立維持
- ・多民族 少数民族が多数の国も

ASEAN各国の宗教事情

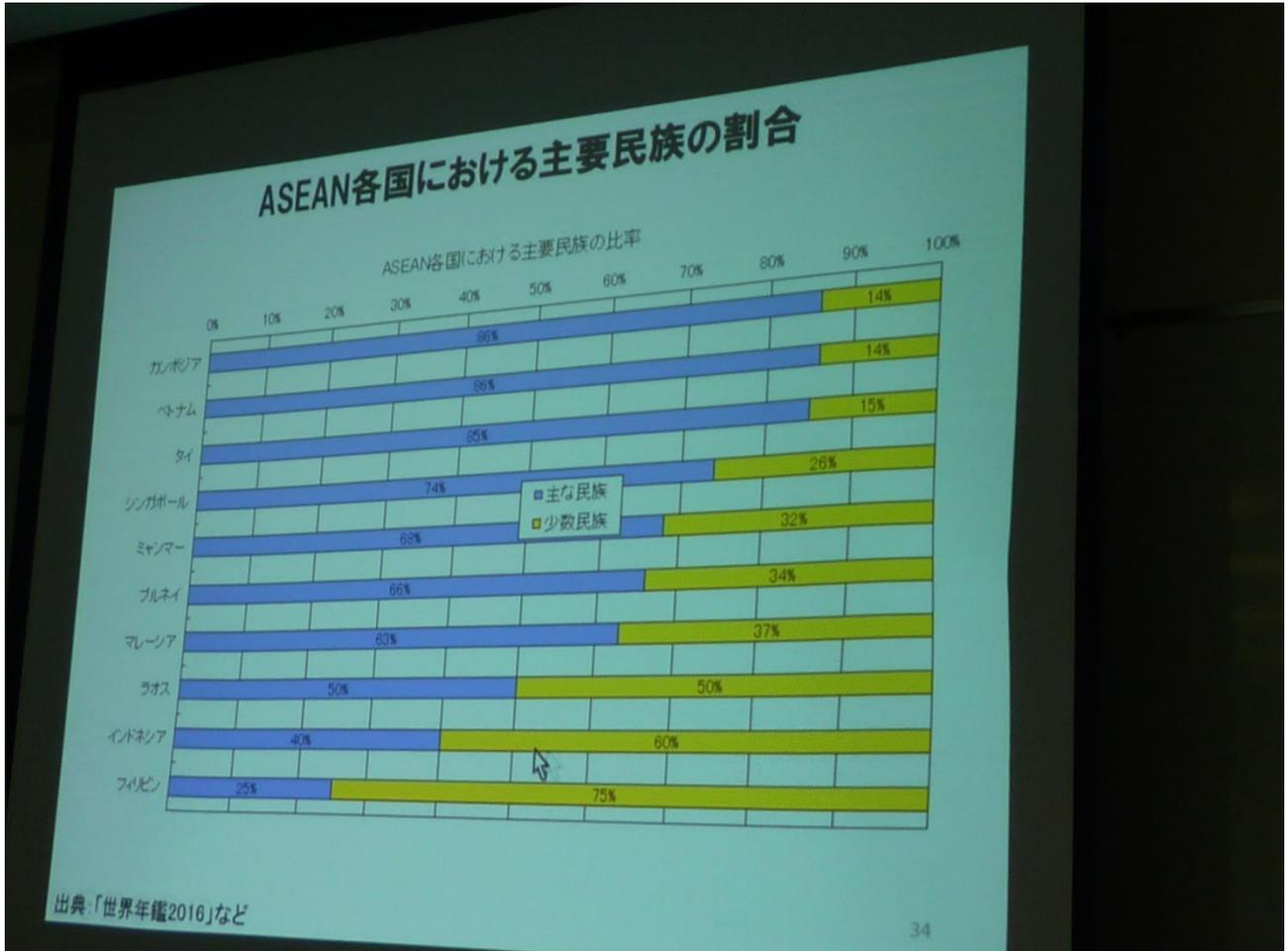
	上座部仏教	イスラム教	大乘仏教	キリスト教	精霊信仰	その他
タイ	94%	5%			50%	
ミャンマー	89%	4%		4%		
カンボジア	95%	5%			35%	
ラオス	65%					2%
インドネシア		88%	1%	9%		
ブルネイ		66%				
マレーシア		63%	22%			15%
ベトナム		7%	90%			3%
シンガポール			74%			
フィリピン		5%		93%		

出典:「世界年鑑2016」など

33

東アジアでの戦争・紛争・内戦と犠牲者

- ・アジア太平洋戦争 (1931-1945) 2000 万人
- ・中国、国共内戦 (1946-1955)
- ・第一次インドシナ戦争 (1946-1954) 60 万人
- ・朝鮮戦争 (1950-1953) 400 万人
- ・ラオス内戦 (1953-)
- ・第二次インドシナ戦争 (1956-1975) 500 万人
- ・インドネシア政変 (1965-1966) 50~200 万人
- ・カンボジア大虐殺 200 万人



アジアは一つになれるか 対立の克服～バンドンへの道

- 1947年 3月 アジア関係会議 (ニューデリー、29ヶ国)
- 1949年 1月 インドネシア支援会議 (ニューデリー、15ヶ国)
- 1954年 4月 コロンボ会議
- " 6月 中印、中ビルマで「平和5原則」
- " 7月 イントシナ和平のジュネーブ協定
- " 12月 ボゴール会議
- 1955年 4月 アジア諸国民会議 (ニューデリー)
- 第一回アジア、アフリカ会議 (バンドン会議)

ASEAN諸国はどう対処しているか

- ヘッジ (保険をかける) 戦略→米中を操る (タイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、フィリピン他)
- 仲裁裁定にも冷静な対応
- 外交の主権を離さず
- 幅広い対話の枠組み



【市民大学初登場の田中講師～P Pを駆使して、普段聞けない貴重な話題を提供戴いた】

2016年 議長国ラオスの取り組み

- ・「法と外交プロセスの尊重」「非軍事化と行動の自制」「話し合い解決」の3原則を一貫して追求
- ・2月 米ASEANXNサミット
- ・6月 中国ASEAN特別外相会議
- ・7月 ASEAN外相会議
- ・8月 MOS協議
- ・9月 ASEAN首脳会議 東アジア首脳会議
海上での緊急事態ホットライン開設
「海上衝突回避規範」の適用確認
来年前半「COC枠組み草案」策定
- ・10月 非同盟首脳会議

○終りに田中先生から、「EUは条約で縛られているが、ASEANは加盟国の満場一致が原則であり、高まるアジアの緊張を、不戦と外部干渉受けないことを基本としている」と結ばれた。

【文責：秋山孝昭】